

クリ

【区画①(2)】

がくめい 学名	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	ぶんるい 分類	ブナ科クリ属
ぶんぶ 分布	ほっかいどう きゅうしゅう きんち かじゆ ていえん はたけ さいしよく 北海道～九州の山地, 果樹として庭園や畑に栽植	じゆこう 樹高	ていど らくようていぼく 15m程度の落葉低木

〈特徴等〉

なまえ ゆらい 名前の由来	・クリは黒実すなわち, クロミの意味。		
は 葉の特徴	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ こせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ かくよう 複葉	⑤ きよしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう 開花等	・ しろ ほじょう はな がつ さ ・ 白い穂状の花が5～6月に咲く。		
けつじつとう 結実等	・ とげのあるいがに包まれ, つつ じゆく すど ・ とげのあるいがに包まれ, 熟すと”いが”が4つに分かれて, 1～3個の果実をあらわす。		
ほか その他	・ かじつ ・ 果実があればクリだと分かるが, な なければクヌギにそっくりで見分けるのが難しい。 ・ クリの果実は食用となる。		

〈写真〉

		
じゆもく 樹木 (6/12)	じゆひ 樹皮 (6/12)	は つ かた 葉の付き方 (6/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ み 果実(実) (/)

＜参考文献＞ 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 676.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 17.